



一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

〈サロン・あべの〉8月の出会い
**ワークショップで
 コミュニケーションを楽しもう!!**

平成24年8月18日(土) 〈サ
 ロン・あべの〉8月の出会いは、
 育徳コミュニケーションセンターに
 おいて、「ワークショップでコ
 ミュニケーションを楽しもう!!」
 と題して、ワークショップデザ
 イナー・「サロンにし」代表の
 宮脇 淳さんのお話を聞き、一
 緒にワークショップを体験しま
 した。

・ワークショップとは
 ワークショップとは、参加型
 体験学習です。普通の勉強とい
 うのは先生がいて、全員が先生
 の方を向いて行う座学で、一方
 的に教えたり聞いたりするもの
 が多い。ワークショップという

のは全員参加型で、積極的に自
 分の意見をテーマや勉強の内容
 に対して述べたりするものです。
 テーマによっては無理のない程
 度でパスすることもできます。
 机をはずして、円座に椅子を置
 き、参加者の顔が見えるように
 座ります。

そして本日のワークショップ
 のプログラムを紹介された後、
 それぞれのワークショップを体
 験していきました。

初めての方もおられるので、
 心をほぐすためのきつかけ作り
 のワークショップ。

わいわい意見交換：参加者が
 データカードを引く。引いたカ
 ードに一つのテーマが書かれて

あり、そのテーマで参加者が順
 番に自分のことを言っていくま
 す。「今日、初めに食べたもの」
 Ⅱご飯やパン、朝食も人によっ
 ていろいろであることを知り、
 座が賑わいました。

文字さがし：2グループに分
 かれた机を囲んで、参加者が「こ
 とば」作りをするゲーム。机に
 ひらがなの51文字の一字が書か
 れたカードがバラバラに置かれ、
 宮脇さんが「すいか」や「れも
 ん」という音を言われると、そ
 の3文字を探して並べます。
 最初は簡単ですが、だんだん



長くなって「おきなわのうみ」という題が
 だと「お」から「み」までのカードを探
 します。早く文字カードをみつけて、言葉
 にそろえた方が勝ちです。各自がことばを
 音で探すのと、出題者が同じことばを使え
 ないという難しさもあります。

共通点を探そう：4人一組になって4人
 の共通点を3つ以上上げます。「甘いもの
 が好き」、「お笑いが好き」、「携帯を持
 っている」など。各自の意外性、偶然性の
 中から共通点を見付けます。共通点を見付
 けることで親近感を持つことができます。
 同時に違いも見見します。

番号あてゲーム：番号の書いたカードを
 一人づつ引いて伏せておきます。（番号は
 1から50まである。）自分の番号は覚えて
 おく。趣味の中で大変やなと思うものを大
 きい数字として、自分の引いた数字でイメ
 ージする趣味を考える。一人ひとりがイメ
 ージした趣味（例えば、映画、公園散歩）
 を言っていく。趣味からイメージする数字
 が近いであろう参加者が組になってみる。
 そして組になった二人の数字近い組が勝ち
 というもの。

みんなでつくろう誕生日の輪：自分の誕

生日を言葉を使わずに手振りで伝え、1月
 生まれから順で並ぶ。並んだ後で実際の誕
 生日を言って順番が正しければOK。言葉の
 ない難しさと面白さを体験します。

大切なもの：（時間の都合で削除）

あなたの性格は：50の質問項目（例 好
 奇心は強いほうですか。）に、はい、どち
 らともつかない、いいえ で答えていき自
 分の自我状態を発見していきます。

もしも砂漠で遭遇したら：砂漠で遭遇し
 たという文章があり、12の品物（水、懐中
 電灯：等）があり、その品物の最も重要で
 あると思われるものから順番に順位をつけ
 るというもの。

達人技をみつけよう！：参加者が得意な
 もの趣味を付箋に書いていきます。そして
 一人づつ発表していきます。

ふりかえり：ワークショップの体験を通
 じて、非日常の中で気づきや価値観を見付
 けることができました。

この日はサロン途中、激しい雷雨の天候
 になりました。幸い、建物の中にいました
 ので無事でした。また、終了時には上がっ
 ている、帰りはほっとしました。

ワークショップを体験していくうちに自
 然と参加者同士の交流ができた（サロン・
 あべの）8月の出会いでした。

（参加者10名 山村貴司）



美智子のこんな話

岸田美智子

高校で授業をやらせてもらいました！

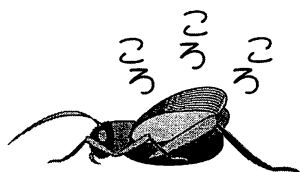
8月27日と29日に、大阪府立阪南高校で、アクションプランの福祉教育のDVDの障害者編「わたしたちも地域の住民です」の当事者が語る福祉のまちの上映と、岸田の話で授業を担当させてもらいました。阪南高校は、私の自宅から徒歩でも2・3分という近さなので、びっくりしましたが、これをきっかけにお付き合いができたらいいなあと思いつつ、授業をしました。

当日は、セミナールームに高校1年生80名の生徒さんに集まってもらい、「福祉体験授業」の中で3回授業をやらせてもらいました。

約20分くらいのDVDが終わった後、私

の生活についてや、このDVDの見てくれた人に伝えたかった事や、この授業をきっかけに各生徒さんが生活の中で、1番近い障害者の人たちと付き合い合っていてほしいと伝えました。授業の中では、言語障害のある私の言葉を聞き取ってもらえているのかどうか、心配だったことと、一方通行の授業はやりたくなかったので、質問であっていくことも取り入れました。その質問は、私の好きなキャラクター？や、今はまっているテレビ番組は？というくだけた質問もしてみました。1日目と2日目は、だいぶムードが違っていました。1日目の方が反応があり、いろいろな答えが返ってきたので、良かったです。この違いは、何なのか？は私はわかりませんが、本当に伝わった人が一人でもいてくれたらいいし、この授業をきっかけに障害者に興味を持ってもらえればいいなあと思つた体験でした。

授業の後に、アンケートなどもとってくれていたのですが、学生さんたちが何を書いてくれているのかが、とても楽しみです。いつも思うことですが、人に何かを伝えることは難しいし、そのやり方に答えはないので、これからもチャンスがあればどんどん伝え



最後の音楽

父の葬儀のとき、葬儀屋さんから「お父さんの好きだった曲は何ですか。それを流しましょう」と言われて、さて何だったのだろうか」と妹とでいろいろ話し合ったのだが、それがなかなかわからない。

しばらく考えた末、母は「トロイメライ」という。ピアノの静かな小曲だが、新婚時代に父が母に贈ったオルゴールのメロディがそれだった。「でも、それはお母さんの思い出の曲ですよね。お父さんが好きだった曲は何ですか」と、さらに聞いてくるので、ずいぶん理屈っぽい葬儀屋だった。死んでしまった人間には、もうどんな曲でも同じではないかと内心思ったものだ。

妹は「カーペンターズのイエスタデイ・ワンズモア」だという。父が音楽を聴いているところなんてほとんど見たことがなく、まして若

者向きの音楽に耳を傾けていたとは私には信じがたかった。しかし妹は、そのCDを買ってきとくれと父から頼まれたことがあるという。

もう一曲は、年配の読者ならきつと誰もが知っているNHKの新日本紀行のテーマ曲だ。日本風のゆったりとしたテンポで流れる富田勲の名曲だ。故郷から遠く離れて働いていた父が、自分の思いと重ねてこの番組を見ていたことは、子どものころの私も覚えていた。

では自分の葬儀にはどんな曲が流れているだろう。葬儀屋に聞かれて、妻や子どもたちが困らないようにいまから伝えておくべきだろうか。自分の葬儀については、数年前に亡くなった叔

父の棺の前の写真が、あまりに私自身に似ている、また棺のなかにいた叔父の顔も目をつぶればきつと自分もこんな感じだろうと思えたので、なんとなく抵抗なく想像できてしまう。

黒い服を着て、妻と二人の息子が並んで立ち、焼香に向かう人々に頭を下げている様子さえもきつとどこか他の葬儀で見た印象と重なっているのだろうが、ごく普通に目に浮かぶ。

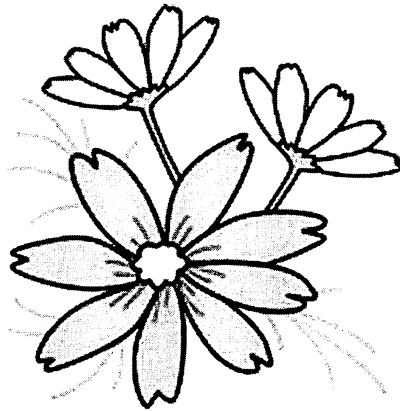
そこで流れている曲は、ゆったりとしたテンポで、過ぎた時間を思い出すような音楽であってほしい。私の一生がそこに表現されていればと思う。

両親の手をにぎりながら草原を歩いている小さな男の子がいて、いつのまにか手をはなして、なだらかな坂を駆け下りていく。両親の呼ぶ声も遠くなり、聞こえなくなっても夢中で駆け下りていく。やがて少し疲れて、ゆっくり歩くようになると、少し先の草の陰に誰か年老いた人が眠っているのに気づく。誰だろうと思って、その顔をのぞき込むと、さて、どこかで見た顔

だ。ああ、これは自分の顔なのだなどと気づいた瞬間、私の足は地上から離れている。音楽を聴きながらイメージしてしまうのはそういう私の一生だ。

これに合うのは、ラフマニノフの交響曲第二番第三楽章だろうか。このあいだラジオで偶然聴いた「ソング・フロム・ア・シークレット・ガーデン」というピアノとバイオリンの静かな曲もいい。いやいや、もう死んでしまった人間には聴かせる曲もないじゃないか。妙な言葉を残して、家族を困らせてもいけないとも思うのである。

(知)



晴れのち晴れ

稲垣 恵雄

■仏像

今、仏像ブームと言われているだけにテレビや新聞、雑誌などでさまざまな仏像が取り上げられている。

私の実家は寺院なので本堂の奥の内陣中央にご本尊である阿弥陀如来像が安置されている。ちなみに仏と呼ばれているのは如来のみで、釈迦の教えを正しく象生に伝えるためにいろんな姿になって現れてくださることをいう。日本三如来とは釈迦如来、阿弥陀如来、薬師如来を指す。

この他の仏像には菩薩（観音、地藏、普賢、文殊、）、明王（不動尊）天部（毘沙門天、歓喜天、弁財天、魔王）などがあり、それぞれに役目を果たされている。

以前、私は京都の浄瑠璃寺を訪れたこと

がある。当寺は別名を九体寺と言われるように九体の仏像が安置されている。九体とは九品（くぼん）、つまり上品上生（じょうぼんじょうしょう）から下品下生（げぼんげしょう）を指し、個々の人間の生き方を示しているのではないか。

浄瑠璃寺といえば、また堀 辰雄の名作「浄瑠璃寺の春」を思い出す。作者が奥さんと二人で奈良から京都（当尾）の浄瑠璃寺まで歩いて訪れた時のことが書かれている。この作品を読んでいると、私が当寺を訪れた時のことが懐かしく思い出され、作者の筆使いも上品でやさし



いので私は大好きである。

いずれにしてもどんな仏像でも、その前に座って静かに合掌していると、自然と落ち着いてきて、身も心も洗われる思いがするのである。



あやかの

虹のおこうへ！

つつみ あやか

「性別岩」 人生のレールの先にあるもの

あつと言う間に大学生活も終りを迎え、地元の大阪市内にある電機メーカーに就職しました。大学時代に大型コンピュータを使った企業の経営分析について勉強していた事もあって、企業内で使うコンピュータシステムの開発部門に配属されました。

子供の頃から機械いじりが好きで、小学生の頃から日本橋の電気街にある電子部品を売っているお店で電子部品を買い集めてラジオを作ったりしていましたので、その頃に持っていた夢が少し形を変えて実現したとも言える面も大いにあります。

でも、それは、親の期待する線路の上を時刻表どおりに走らせている電車の様な人生に感じる事もありました。

親としては、できるだけ良い学校に進学して、良い会社に就職して、そして良い女性と結婚して良い家庭を築いて欲しいと言う願いを持って

おります。

それは、親の立場から考えても、ごく自然に思う欲求であり期待だと思えます。

ところが、私の場合、会社に就職してから先にあるもの。女性と結婚して子どもを作って家庭を築くと言う事が果たしてできるのだろうか？と言う大きな不安がありました。

それは、既に小学生の頃から漠然とした恐怖の様なものとして認識しており、それはまるで地平線の向こうまでまっすぐ伸びる線路の上にとっかかりと大きな岩が転がっていると言う様なイメージでした。

「結婚」と言う人生においての大きなイベントこそ、その巨大な岩だったんです。

私は、それを「性別岩（違和）」と呼んでおりました。

「結婚」と言うのは、今の日本の制度においては、男女の関係を持って成立するものです。

私の様な、精神的なものが女性の要素を多く持つ人間が、見かけの男性を演じて女性と肉体的な関係を持つこと自体、非常に大きな困難である一方で、まだまだ世間においては、「男は

男らしく、女は女らしく。」が当たり前である時代。そんな時代に「私の心は女性なんです。」なんて言ったら、すぐにヘンタイ扱いされて社会的な信用も家族との絆も崩壊するのは目に見えていきます。

やがて、歳も30代になり、親や親戚、会社の上司と言った周りの人も、そろそろ結婚を考えてみてはどうか？と言われる時期になり、女性とお見合いをする事になりました。

お見合いをしてみると、たいていはすぐに仲良くなつて友だちみたいな感じで楽しくお付き合いはできるのですが、しばらくすると「結婚前提の交際」と言う名目上、いつまでも友だち関係ではいられません。

いつまで経っても、お食事しながらおしゃべりするだけで、それ以上の進展はなく、やがて破綻してしまうと言う事ばかりでした。

それは、私の感覚では当たり前です。私の認識は女性であり、相手の女性を愛しようとするなら、同性である女性を愛する気持ちにならな

いとできないのですから……。

「西暦2000年問題」私の人生の世紀末

ちょうど、その頃、コンピュータの「西暦2000年問題」と言う事が話題となり、コンピュータシステムを取り扱う私の仕事にとっても大きなテーマとなりました。旧式コンピュータの日付データの西暦年は下2桁しか持っていない

かったため、西暦2000年を迎えるとデータでは「99年」から「00年」となってしまう、日付の大小関係が逆転してしまう事により、日付計算を伴う処理がごとく狂ってしまい、世界中が大混乱するのではないかと言う社会問題が懸念されておりました。

そんな事もあって、当時の私はこの仕事でかなりの大きな責任が任され、早朝から終電間際まで連日お仕事をするハードな日々。プライベートでは、お見合いで「前途有望な男性」を演じ続けると言う、まったく逃げ場のない状態になってしまいました。

そんな極限状態の中でもずっとお仕事を続けておりましたし、少々風邪を引いても休まず会社へ出社していたのがきっかけで、ある日、職場で喘息の発作を起こして倒れてしまいました。これが、「性別岩」と激突して脱線、転覆した私の人生最大の事故の始まりでもありました。

(続く)



サロンへのお便り

東 百合子

日中の暑さに閉口しながらも、夜の虫の音に秋を感じております。

「サロン・あべの」紙、いつもありがとうございます。

ウィグル語で、ラフメット!

七月の出会いより、ウィグル自治区の生活と文化にふれました。

雑学のひとつにいたします。

くれぐれもご自愛下さいませ。ホックス!

サロン・あべの毎月の感謝

○カンパ、お菓子、宛名シールのご提供等、ありがとうございます。

小西京子、平岡太、町野旬子、宮脇信子、その他の方、(敬称略)

お知らせ

<サロン・あべの>10月の出会い

○内容：バザーのお店「さろん亭」出店

～掘だし物やお買い得の品々が、

皆さまのお越しをお待ちしています～

○日時：10月8日(祝・月)午後1時～5時

○場所：市立工芸高校グラウンド内、

第39回あべのカーニバル会場、なんでも市通り

[大阪市阿倍野区文の里1-1-40

阿倍野区役所裏]

.....
*お願い：ご家庭で眠っているタオルや石鹸、日用雑貨品などありましたら「さろん亭」にご提供ください。

○問合せ先と申込み先：

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



10月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」¹⁰月の出会い
日 時：10月21日(日) 午後1時30分～4時
内 容：「日本名作映画集 長屋」
日本が語る巨匠「小津安二郎」の世界
主演、飯田蝶子
場 所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3
会 費：なし
問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「サロンにしよど」再スタートの出会い
日 時：9月29日(土) 午後1時30分～3時30分
内 容：再スタート、サロンでの語らいと枝雀落語鑑賞
10月のサロン
日 時：10月27日(土) 午後1時30分～3時30分
内 容：堀北さんの語りと演奏
場 所：「ふくふく」西淀川在宅センター
会 費：なし
問合せ先：中本TEL090-9864-9678

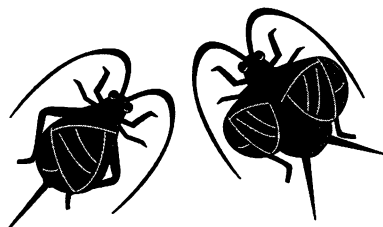
■「サロンにし」10月の会いはお休みです。

■サロン「アイ」10月の出会い
日 時：10月13日(土) 午後1時30分～4時
内 容：傾聴について
ゲスト：長原洋子氏(「kun こころの宮」理事長)
場 所：「おかちやま」区社協、2階多目的ホール
[大阪市生野区勝山北3-13-20]
会 費：なし
問合せ先：生野区社協ボランティアビューロー
TEL06-6712-3101

■「てくてくすみよし」10月の出会い
日 時：10月20日(土) 午前十一時～
内 容：100周年の通天閣を散策しよう！
場 所：通天閣
会 費：介護人同行1,000円 単独参加800円
問合せと申込み先：山本篤江
TEL06-6692-8411
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」10月の出会い
日 時：10月7日(日) 午後1時30分～4時
内 容：DVD鑑賞「ALWAYS 続・三丁目の夕日」
～高度成長時代の感動と希望に満ちた心温まる物語です～
場 所：鶴見区民センター3階
[大阪市鶴見区横堤5-3-15]
会 費：なし
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6913-7070

■「サロンいたみ」¹⁰月の会いは、お休みです。



<サロン・あべの>Vol.315 発行：平成24年(2012年)9月15日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印 刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます